

この添付文書は、お薬とともに保管し、
服用の際には、必ずお読み下さい。

【生薬製剤】

強 鎮 咳 散

第②類医薬品

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと

生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること
- (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)で軟便下痢になりやすい人。
 - (4) 胃腸の弱い人。
 - (5) 発汗傾向の著しい人。
 - (6) 高齢者。
 - (7) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること
- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合
- | 関係部位 | 症 状 |
|------|---------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 悪心、食欲不振、胃部不快感 |
- まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。
- | 症状の名称 | 症 状 |
|-----------|---|
| 間質性肺炎 | せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。 |
| 偽アルドステロン症 | 尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。 |
| 肝機能障害 | 全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。 |
- (2) 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合
3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談すること

効能・効果

咳止

用法・用量

次の量を食前又は食間^{注)}に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

^{注)}「食間」とは食後2～3時間を指します。

年 齢	1回量		1日服用回数
	容器入りの場合	分包品の場合	
大 人	1.5g(添付のサジ2杯)	1包	3回
10歳以上15歳未満	大人の2/3の量(1.0 g)	2/3包	
5歳以上10歳未満	大人の1/2の量(0.75g)	1/2包	
5歳未満	大人の1/3の量(0.5 g)	1/3包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (3) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。
- (4) 生後3ヵ月未満の乳児には服用させないこと。

成分・分量

本剤4.5g又は3包中

セ ッ コ ウ……………0.267g } エキス……1.472mL (固形物として0.045g)
マ オ ウ……………0.134g }

ゴ ミ シ0.343g ハ ン ゲ0.685g }
サイ シ ン0.343g マ オ ウ0.343g } エキス……2.812mL (固形物として0.171g)
シャクヤク0.343g カンキョウ0.343g }

カンゾウ末……1.713g

ケ イ ヒ 末……1.714g

マ オ ウ 末……0.857g

- ・本剤は黄褐色で、特異なおいを有し、味はわずかに甘い散剤です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 分包品において1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

強鎮咳散は生薬の特性を活かした生薬製剤ですので、あなたの体質や病状を考えて正しく服用することが大切です。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、生薬製剤のことをご理解いただいている医師・薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田515番地1